

(案)

造林事業請負契約書

1 事業名、請負物件、契約面積、請負予定数量、請負予定単価、請負予定金額、事業場所及び生産完了検査場所

事業名	請負物件	契約面積 (ha)	請 負 予 定 数 量 (m ³)	請負 予定 単価	請負予定金額	事 業 場 所	生 産 完 了 検 査 場 所
森林環境保全 整備事業 (大峠山地区)	保育間伐 活用型	20.60ha	1,973m ³			別紙1 のとおり	指定土場
	天然受光伐	4.86ha	189m ³				
	保護伐	3.44ha	138m ³				
	小計	28.90ha	2,300m ³				
	検知		2,300m ³				
計		28.90ha	2,300m ³		請負金額 金 円也 (うち取引に係る消費税及び地方 消費税額 金 円也		

2 事業期間

自 令和8年 月 日
至 令和9年1月29日

3 選択条項 別冊約款中选择される条項は次のとおりである。
(選択されるものは○印、削除されるものは×印。)

適用削除の区分	選択事項		選択条項
	契約保証金の納付		第4条第1項第1号
	契約保証金の納付に代わる担保となる有価証券等の提供		第4条第1項第2号
	銀行、甲が確実と認める金融機関等の保証		第4条第1項第3号
	公共工事履行保証証券による保証		第4条第1項第4号
	履行保証保険契約の締結		第4条第1項第5号
	支給材料及び貸与品		第15条
	部分払	月 回以内	第38条
	前金払	分の 以内	第35条第1項
	中間前金払		第35条第4項
	国庫債務負担行為に係る契約の特則		第40条

4 支給材料及び貸与物件

品 名	品質規格	数 量	引渡予定場所	引渡予定月日

5 特約事項

- (1) 事業実行にあたっては、労働安全衛生に関する諸法令及び諸通達に示す指導事項を遵守すること。
- (2) 伐採、搬出にあたっては、河川の汚濁防止に努めるとともに、林地保全には万全を期すること。
- (3) 丸太表皮の剥皮防止に努めること。
- (4) 一般材と低質材を仕分けし、素材の混同をしないこと。
- (5) 降雨等による地盤の状況等を適切に把握し、林道・集材路等の悪化及びを防止すること。
- (6) 虫害時期においては、切捨て作業を優先的に実施すること。
- (7) 国有林材の生産量の調整の必要が生じた場合には、生産調整に可能な範囲で協力すること。
- (8) 林業機械が林道を走行する場合は、雨天時を避ける等林道の保全に努め、販売した丸太を運搬する時の支障とならないようにすること。
- (9) アフリカ豚熱「ASF」に関わる特約事項は別紙2のとおり。

上記の事業について、発注者と請負者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、本契約書及び令和8年 月 日に交付した国有林野事業製品生産請負事業請負契約約款によって公正な請負契約を締結し、信義にしたがって誠実にこれを履行するものとする。

また、請負者が共同事業体を結成している場合には、請負者は別紙共同事業体協定書により契約書記載の事業を共同連帯して請け負う。

本契約の証として本書2通を作成し、当事者記名押印の上、各自1通を保有する。

令和 年 月 日

発注者	住所	宮城県大崎市古川東町5-32
		分任支出負担行為担当官
	氏名	宮城北部森林管理署長 泉 光博

請負者	住所
	氏名

請負事業内訳書

事業名 森林環境保全整備事業(大峠山地区)

林小班(伐区)	材種	作業工程	予定数量 m3	備考
323い1	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	843	
323い2	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	52	
323ろ1	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	438	
323ほ1	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	248	
323ほ4	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	37	
323ほ5	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	36	
323と1	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	250	
323と2	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	18	
323と3	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	26	
323と4	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	49	
323と5	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	18	
323と6	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	18	
323と7	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	20	
323と8	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	18	
323と9	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	40	
323ち1	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	189	
計			2,300	
		素材計測 計測検知 検尺	919	(1)の業務
			230	(2)の業務
			1,151	(5)の業務
計			2,300	

特約事項（製品生産事業）

農林水産省では、専門家による検討等を重ね、今般、野生イノシシにおけるアフリカ豚熱（以下、「ASF」という。）の感染確認時の具体的対応が取りまとめられ、都道府県へ通知されたところ。

ASFは、ASFウイルスが豚やイノシシに感染することによる発熱や全身の出血性病変を特徴とする致死率の高い伝染病であり、ダニによる媒介、感染畜等との直接的な接触により感染が拡大し、有効なワクチンや治療法はなく、発生した場合の畜産業界への影響が甚大であることから、我が国の家畜伝染病予防法において「家畜伝染病」に指定され、患畜・疑似患畜の速やかな届出とと殺が義務付けられている。

このことから、下記について順守すること。

記

1. 平時における対応について

山林での作業用の靴の履き分けや、下山時や帰宅時の靴及びタイヤの土落とし等、感染防止対策に協力すること。

また、野生イノシシの死体発見時には死体が所在する県の家畜衛生部局に速やかに通報するとともに、当該森林管理署等へ連絡すること。

2. 感染の疑いが生じた場合の対応

ASF対策として、野生イノシシの感染が確認された場合の各県が実施する防疫措置に基づき、消毒ポイントにおける消毒の実施や帰宅後の靴底の洗浄消毒等に協力すること。

また、各県の行う立入制限等の防疫措置等を踏まえ、本契約の作業を一時中止する可能性がある。

一時中止となった場合は、国有林野事業製品生産事業請負契約約款第20条により対応する。

(様式6)

令和7年度 林分条件調査表

森林管理署	宮城北部森林管理署	
物件番号	4	
物件名	森林環境保全整備事業(大峠山地区)	

林小班	保安林 種別等	主要樹種	林齢	事業区分	伐採方法	面積 ha	伐採率 %	平均 胸高 直径 cm	立木資材量			生産量			予定作業量														最寄り市町村 からの距離 km	備 考			
									本数	材積 m³	m³/本 m³	N m³	L m³	計 m³	伐倒		集・造材		小運搬巻立				森林作業道作設		林地保全		土場 作設等 h	砂利 数量 m³			薬剤 散布 (スミバ イン) ℓ	鉄板 規格*枚数	
															方法	数量 m³	方式	数量 m³	フォワーダ 片道運搬距離 m	数量 m³	グラップル付きトラッ ク片道運搬距離 m	数量 m³	林地傾斜 緩・中・急	延長 m	2種 編柵 m	緑化 m²							
323い1	水涵保	ス ギ	41	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	6.99	33	22	2,809	1,366	0.49	822	21	843	全木	1,366	プロセッサ	843	187	843			中								気仙沼市役所	5.6	
323い2	水涵保	ス ギ	42	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	0.51	33	18	336	103	0.31	52		52	全木	103	プロセッサ	52	130	52			中									5.6	
323ろ1	水涵保	ヒノキ	36	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	5.42	33	16	4,170	875	0.21	437	1	438	全木	875	プロセッサ	438	154	438			急									5.6	
323ほ1	水涵保	ス ギ	42	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	2.92	25	20	1,301	415	0.32	247	1	248	全木	415	プロセッサ	248	123	248			中									5.6	
323ほ4	水涵保	ス ギ	36	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	0.26	33	22	123	62	0.50	37		37	全木	62	プロセッサ	37	680	37			急									5.6	
323ほ5	水涵保	ス ギ	56	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	0.54	25	26	104	60	0.58	36		36	全木	60	プロセッサ	36	46	36			中									5.6	
323と1	水涵保	ス ギ	42	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	3.00	33	18	2,005	501	0.25	248	2	250	全木	501	プロセッサ	250	347	250			中									5.6	
323と2	水涵保	ス ギ	43	保護伐	列状間伐(1伐2残)	0.54	33	12	517	43	0.08	18		18	全木	43	プロセッサ	18	262	18			中									5.6	
323と3	水涵保	ス ギ	41	保護伐	列状間伐(1伐2残)	0.46	33	14	444	65	0.15	26		26	全木	65	プロセッサ	26	400	26			急									5.6	
323と4	水涵保	アカマツ	42	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	0.67	33	16	416	96	0.23	48	1	49	全木	96	プロセッサ	49	545	49			中									5.6	
323と5	水涵保	ス ギ	43	保護伐	列状間伐(1伐2残)	0.54	33	12	517	43	0.08	18		18	全木	43	プロセッサ	18	422	18			中									5.6	
323と6	水涵保	ス ギ	43	保護伐	列状間伐(1伐2残)	0.55	33	12	528	44	0.08	18		18	全木	44	プロセッサ	18	138	18			中									5.6	
323と7	水涵保	ス ギ	40	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	0.29	33	22	79	35	0.44	18	2	20	全木	35	プロセッサ	20	50	20			中									5.6	
323と8	水涵保	ス ギ	43	保護伐	列状間伐(1伐2残)	0.34	33	14	217	44	0.20	18		18	全木	44	プロセッサ	18	195	18			中									5.6	
323と9	水涵保	ス ギ	43	保護伐	列状間伐(1伐3残)	1.01	25	14	497	99	0.20	39	1	40	全木	99	プロセッサ	40	261	40			中									5.6	
323ち1	水涵保	アカマツ	99	天然林受光伐	定性間伐	4.86	25	40	276	390	1.41	189		189	全木	390	プロセッサ	189	703	189			中								5.6		
合計						28.90			14,339	4,242	0.30	2,271	29	2,300		4,242		2,300					4,035				13h	C-80 172m					

- 1 量の端数は単位以下第1位を四捨五入し、単位止めとする。
- 2 面積は伐採面積とする。
- 3 森林作業道作設の林地傾斜欄は以下の区分とする。
緩:0° ～20°、中:20° ～30°、急:30° 以上
- 4 最寄りの市町村役場(支所含む)からの距離欄は、物件番号毎の代表箇所について市町村役場を記入し、距離は単位以下第1位止めとする。
- 5 伐採箇所、土場、森林作業道作設予定線(既設集材路含む)、編柵および沢については、作業計画図に図示する。
- 6 その他必要な項目があれば備考欄に記載する。

検知業務請負作業内訳書

事業名：森林環境保全整備事業（大峠山地区）

単位：m³

材種	作業工程	予定数量	備考
素材	（１）の業務	919	
	（２）の業務	230	
	（３）の業務	—	
	（４）の業務	—	
	（５）の業務	1,151	
	合計	2,300	

検知業務請負（作業内容）

- （１）の業務 素材の長級・径級を測定、木口表示を行い、指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- （２）の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示を行い、指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- （３）の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示を行う作業、トラック運材の積み込み本数を確認し送状に記載・交付する作業、及び最終貯木場において指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- （４）の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示、材積計算を行い、送状（概算引渡物件明細書）を交付し、スプレーの塗布を行う作業。
- （５）の業務 低質材及び低評価一般材の層積検知（縦、横、高さを測る）を行い指定野帳に記載し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。

令和 7 年度 森林環境保全整備事業（大峠山地区）
作業計画図
縮尺（1/5,000）

令和 7 年度 森林環境保全整備事業（大峠山地区）
作業計画図
縮尺（1/5,000）

令和 7 年度 森林環境保全整備事業（大峠山地区）
作業計画図
縮尺（1/5,000）

凡	例
保育間伐（活用型）	
保護伐	
天然林受光伐	
土 場	
森林作業道予定線	